

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	保健体育施設災害復旧事業（吉永）		コード	担当課係	市民スポーツ課（吉永）
			03-02-06-13	担当者	光友公昭
事業実施期間	平成17年度		電話	84-3776	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	スポーツ・レクリエーション			
	施策	スポーツ施設の整備・充実と有効活用			

事業について	
目的	災害に伴う施設の原形復旧
対象 (誰のために)	施設利用者
内容	災害復旧工事（吉永テニスコートフェンス修繕工事）

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
災害復旧事業	1 件		
災害復旧事業工事費	249,900 円		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	250	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	120	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	370	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.02	人		人
結果指標名	災害復旧工事			
結果指標量	..日か?			
単位	工事日数			
対前年比	-			
事業費	249,900	円	#VALUE!	円
単位当たりコスト①	#VALUE!	円		円

結果指標②	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	事業費	円	円	円
	単位当たりコスト②	円	円	円

事業の成果	
成果指標名	工事日数発注から完了までを入式又は説明
	予定どおり完成した等
成果指標量	17年度 100%
対前年比	0.00%
到達目標値	100%
	到達目標年度 単年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	目的・対象・内容については、妥当である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	今後、必要最低限の物件を検討していく。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	利便性のある施設にするため、必要に応じて利用者にも意見を聞いていく。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	台風により被災した箇所の修繕は単年で復旧が完了している。今後も災害があれば、利用者のために早急に復旧させる必要がある。
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。